

サクサク、ねっとりナガイモ作り！

栽培のポイント

● 耕土を深く、排水性を良くする！

地中に長く伸びるため、やわらかくふかふかの土を好みます。バクヤーゼKを使って有機物を分解し、ふかふかの土を作りましょう。養分の吸収根は表層に分布するので、肥料は土壌の中に混ぜ込むのではなく表層(ウネ間)に施肥します。

● デンプン作りが得意なMリンPKは、イモを太らせる！

普通は長く細く伸びてしまうナガイモは、MリンPKを利用するとずんぐりとした太くて重量感のあるイモになります。

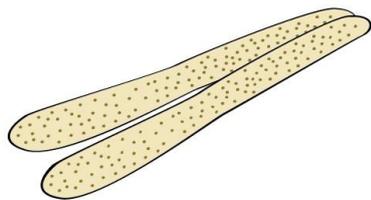


● MリンPKは、ナガイモのきめを細かくする！

きめの細かいイモ質はアク成分が少なく、すりおろした時に粘りが強く、すぐ黒く変色しません。短冊状に切った時もサクサク感に優れますので、料理を提供するお店に大好評です。

ナガイモの施肥提案 (1a = 30坪)

肥料名	元肥	追肥① 茎が1m程度の頃	追肥② 追肥①の約30日後	追肥③ 追肥②の約30日後
MリンPK	4kg	4kg	2kg	2kg
バクヤーゼK	45kg			
NK化成	4kg	3kg	3kg	



葉が繁茂すると病気にかかりやすくなるので、リーフアップV3 (500倍) の利用がお勧め

仕上げには、MリンPKとともに硫酸マグネシウムの効果も大きい

★ナガイモづくりは、種イモづくりから種イモが良ければ、病気や異常気象に強く、規格が揃い、歩留まりが向上します。充実したイモをつくれれば、種イモの質も上がります。

収穫後の土づくり (1a = 30坪)

各作の収穫後に 残渣とともに
 堆肥 500kg~1t
 バクヤーゼK 3~5袋
 Mイーシー 2kg
 米ヌカ 約3~5kg
 以上を全面散布して、耕起します
 その後、十分にカン水
 (バイオ根助の混用おすすめ)